

進行期パーキンソン病に対する

## 薬剤デバイス補助療法

～デュドーパ®及びヴィアレブ®～

2025年

3月19日(水) 12:15～12:45

ランチタイム



本講座はZoomを使ったオンラインセミナーです。受講するには、Zoomを利用できる環境が必要です。

口から薬を飲む治療法では十分な効果が得られなくなったパーキンソン病患者に対し、**携帯型の機器（デバイス）を使って体内に効果的に薬を送り込むデバイス補助療法**があります。

今回、専用ポンプとチューブを使って小腸に薬を持続的に直接投与する治療法（デュドーパ®）、細い管を皮膚に留置して専用ポンプとチューブを使い皮下に薬を直接投与する治療法（ヴィアレブ®）について、埼玉県総合リハビリテーションセンターでの実績も踏まえ医師が解説します。

## 目次

1. パーキンソン病の臨床経過とデバイス補助療法
2. デバイス補助療法はいつ頃が目安？
3. 持続経腸療法あるいは持続皮下注射どちらを選ぶ？

## お申込みはWEBから

右記QRコード※ または センターHP よりお申込みください

- ・ 申込が完了するとno-reply@zoom.usからメールが届きます。
- ・ 受信拒否設定等されている方は、こちらのメールアドレスからの受信を許可してください。
- ・ 申込個人情報の取扱い：お申込みの際に取得した個人情報は、受講管理にのみ使用し、他の目的には使用しません。
- ・ 本研修の録画・録音、及び資料の2次利用、詳細内容のインターネット上への投稿等はお断りいたします。

これらの行為が発覚次第、著作権侵害として対処させていただく場合がございます。

※ QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

＼当日までお申込み可能です！／



## 講師

埼玉県総合リハビリテーションセンター  
脳神経内科 医師

橋本 祐二

- ・ 医学博士
- ・ 日本神経学会認定神経内科専門医
- ・ 難病指定医
- ・ 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医

## 対象者

- ・ 医療・福祉関係者
- ・ 患者・ご家族

